

議 事 録	
会 議 名	令和7年第一回東海警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和7年2月12日（水）午後1時30分から午後3時まで 東海警察署 講堂
出席者	1 委員 8名（定数10名） 吉本 幸夫会長    近藤 真一委員    櫻井 淳子委員 深谷 剛寿委員    村上 友紀子委員    芳賀 鉄男委員 磯部 秀人委員    天野 詠子委員
	2 警察署員 10名 八木 智署長    小木曾 伸彦副署長 宮崎 博之警務課長    森 康会計課長 荒井 貴徳生活安全課長    竹村 昇地域課長 二村 正男刑事課長    今井 聡至交通課長 杉浦 和樹警備課長    石田 敏之大府幹部交番所長
	3 有識者等
1 委嘱状の交付 署長から新規委員に対して公安員からの委嘱状を交付 2 会長及び副会長の選出等 委員の互選により吉本委員を会長に選出、会長は渡部委員を副会長に指名 3 会長挨拶 4 署長挨拶 5 報告内容 (1) 管内治安情勢 (2) 速度取締指針の説明 (3) 前回の意見・要望に対する具体的な施設の推進状況 ア 前回の協議事項 大規模災害時の警察活動と日頃の備えについて イ 意見要望 (ア) 行政機関との連携の強化と訓練の実施 (イ) 警察施設の防災対策と点検 (ウ) 自助活動の重要性を幅広い年代に向けた広報活動	

ウ 施策推進状況

- ・ 大府市主催の防災訓練に参加、避難誘導訓練を実施
- ・ 取壊し予定の施設を借用し、東海消防署等と合同で訓練を実施
- ・ 警察署施設の全ての書庫等に対する転倒防止資器材の総点検を実施
- ・ 非常電源装置（バックアップ電源）の機能性向上
- ・ 各種イベントを捉えた災害啓発活動の実施
- ・ 管内の小学校に対する災害対策講話の実施

6 協議事項

高齢者に対する交通事故抑止対策について

7 発言の要旨

高齢者の特性として、車両が来ないのがわかると横断歩道のないところを横切ってしまう。

高齢者が、交通ルールについて意識の醸成を図ることができる活動をしてほしい。

反射材の効果について、アピール不足であるため付けている人が少ないのが現状だと思う。

反射材を付けているときと付けていないときの視認性についてパーセントで示す等、数字で明確化して広報するのはどうか。

高齢者の免許返納について、免許を返納すると不便になるという意見が散見されるため、呼び掛けや丁寧な説明が必要ではないか。

高齢者は自身の運転能力の衰えに気付いていない場合が多いため、体験型の講話を行う等して、自身の運転能力を自覚できる取組を行ってほしい。

運転者が事故多発場所や歩行者が多い危険地帯等をいち早く気付くために、看板や信号等の標識を設置する等、道路環境の整備を検討してほしい。

8 意見・要望

- (1) 反射材の効果をアピールする広報啓発活動の実施
- (2) 行政機関と連携し、免許証の自主返納を推進する活動の強化
- (3) 高齢者が自らの運転能力を自覚できる体験型広報活動等の実施

9 その他

- (1) 会議後、警備災害訓練を視察した。
- (2) 次回開催

令和7年5月中旬頃